



木を使用した温かみある車椅子を製造

高齢化社会の到来に伴い、車椅子に着目。オーダーメイド木製家具製造の技術を生かし、木の温もりや柔らかさを生かした「オーダーメイドの木製車椅子」の製造を開始した。木工製品の技術と金属の融合を表現し見た目にも味のある車椅子になっている。

業況等の動向について

本業の動向について

2007年創業。無垢材を中心としたオーダーメイド木製家具の製造販売及び備え付け家具の製造・取り付けを手掛けている。

2008年のリーマンショック以降、木工製品業界全体で受注減少が続いており、加えて2011年3月11日の東日本大震災で更に減少している。

異業種参入事業の概要

オーダーメイド木製車椅子の製造販売。

3月11日の東日本大震災以降、材料やその他の事情により受注をストップ。製造の目途が立てば再開をする予定。2009年に介護保険制度の改正で国内の2社以外は保険適用対象外となり、木製車椅子も保険適用対象外となったため厳しい状況にある。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

高齢化社会の到来に伴い、高齢者医療や介護の場で必要になると思われる車椅子に着目。これまでの金属製の車椅子にはない木の温もりや柔らかさを生かし、外出時のことも考えて見た目にも味のあるものを造りたかった。木工製品の技術と金属との融合という点においても表現したかった。

参入して最も成果のあったこと

車椅子の引渡しの際にお客様も反応が良かったこと。

参入して最も最も困難だったこと

介護保健医療対象外となってから病院指定ではないため、病院や介護施設などへの販売がしづらくなったこと。保険適用外になったことで全額自己負担になるため、個人へも販売が難しくなったこと。

参入に際して活用した自社の技術ノウハウについて

既存の車体フレームの周りを集成曲木で包み込む技術(特許公開番号 2002-330998)により、パイプ形状に合わせて集成多重積層板の部材を加圧着させる。

これにより強度を持たせ、また全ての既存の車椅子に取付けをすることができる。

今後の展望・見通し

震災の影響や様々な理由により、現在は製造販売を中断している。しかし商品としてある以上、木製車椅子を希望される人がいる以上、時が来れば製造を再開したい。

元々のオーダーメイド家具の製造技術を高め販路を拡大すること。

メリット・デメリット

メリットは、木製車椅子が注目されたことで、木工製品に対するイメージが変わり、技術的にも評価を受けた。大手や個人と異なる中規模業者ならではの製造業のあり方が分かった。

デメリットは時期が悪かった。リーマンショックの影響が大きく介護制度の改正も影響した。

異業種参入時のアドバイス

発想が大事だが、市場のニーズ、反応を良く見て開発を行う。自分がこれかと思うものが良いが、決して趣味ではないことを忘れてはならない。思い入れが強くないとできない。市場に出す時に自分が好きか嫌いかも考える。最後までやりぬく覚悟が必要。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

開発、研究費などの助成金を活用した。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

資金繰りなどへの支援。産業が活性化するような制度。財務面が思わしくないからといって廃業を促すようなことをしないで、能力のある企業、可能性のある企業を育てるような支援制度の確立。地域の業者をしっかりと把握して地域の業者が潤うような政策、支援制度などを考えてほしい。地域の業者の意見や要望、相談などに対して聞くだけでなく具体的な対策、政策を行ってほしい。

会社概要

設立:2007年(平成19年)8月

資本金:600万円

従業員数:5名

URL:<http://www.handmade-zero.com/>